

ほん
こども版

やまとしがっこうきょういくじょうほうしんぶん
大和市学校教育情報新聞

大和市教育研究所 発行



大和市
イベント
キャラクター
ヤマトン

まなびやまと

しょうらい やまとし 将来の大和市をこんなまちにしたい!

やまとしせい しゅうねんきねんじぎょう 大和市制60周年記念事業 こぎかい かいさい 「子ども議会」開催

「子ども議会」って何?

令和元年11月10日(日)に、大和市役所5階の本会議場において、「子ども議会」が開催されました。
子ども議会は、大和市制60周年(大和市ができて60年たったこと)を記念して行われた行事です。前回の子ども議会は、市制50周年に合わせて

第1グループ「文化」について やまと あたら ぶんか 大和の新しい文化をへきりだす

「文化」の議会では、大和市の文化を守り、さらに新しい文化をつくり出すために、シリウスの芸術文化ホールや大和阿波おどり、大和市民まつりなどに関する意見が出されました。多くの子ども議員から「シリウスを文化の中心としていきたい」「音楽イベントなどを企画したい」といった声があがる中、「どうすればより多くの人がシリウスに足を運ぶようになるか」という観点での意見もありました。

子ども議員の山崎 咲来さん(柳橋小6年)は、「大和市に住む外国の方や子どもたち、県内外の方々に、阿波おどりを通じて大和市の良さが伝わってほしい。そのために、誰もが参加できる『にわか連』をさらに活発にすることなどが大切」と意見を述べました。また、同じく子ども議員の安齋 和真さん(大和小5年)から、

「ヤマトン体操」など、子どもから大人まで大和市民がみんな踊れる健康ダンスを作ってはどうか」と、新しい踊りの文化を大和市民の手でつくってほしいという斬新な提案もありました。
音楽の良さについて述べたのは、子ども議員の相羽 光梨さん(福田小6年)です。「平和で明るいまちをつくるには音楽が必要。音楽は、リラクゼーション効果や演奏することによる認知症予防効果などがある。駅や商店街などにストリートピアノを置いたり、音楽を流したりすれば、たくさんの方が豊かな気持ちになり、平和な市になるだろう」と、思いを語りました。

この子ども議員からも、「大和市のこれまでの文化を守りつつ、新しいものを取り入れ、ますます発展させていこう」という意欲が感じられました。



こどもきしゃ
みどりしょうがっこう
緑野小学校
おざわ りん
小澤 倫
ひきじだいちゅうがっこう
引地台中学校
ばば しょうと
馬場 柊斗



【感想インタビュー】

「子ども議会に参加して、大人がしている議会について学ぶことができました。気持ちや伝えるには、文を読むときの強弱など、発表のし方が大切だと感じました。」
第1グループ・子ども議員 長・浦塚 紗良さん (大野原小6年)



「議会」とは、選挙で選ばれた議員が集まって行う会議のことです。市のきまりやお金のつかい方などを話し合う議会のことは「市議会」といいます。今回は、各学校から代表の子どもたちが集まって会議を行うので、「子ども議会」と呼んでいます。
「議場」とは、議会を行う会場のことをいいます。大和市議会は、大和市役所の5階にある「本会議場」(右下の写真の場所)で行います。今回の子ども議会もこの会場で開催されました。

【感想インタビュー】

「子ども議会は、10年に一度の貴重な体験だと知り、挑戦してみることができました。議会では各子ども議員から様々な意見が出され、すごいと思いました。」
第2グループ・子ども議員 伊井 健太さん(桜丘小6年)

「議会」と「議場」



「今の生活を世界の人々がそのまま続けていくと、地球温暖化や環境破壊も進み、すべての生き物の命が脅かされていくのではないかと。では、これから私たちはどうしていけばいいのだろうか? 子ども議員の意見は、大和市から地球にまで及びました。
子ども議員の木崎 遼彦さん(緑野小6年)は、「みんなのできるエコキヤップ運動」として、駅や公共施設など、多くの人が利用するところにポトルキヤップの回収ボックスを設置するという提案をしました。
また、「ポイ捨てをなくすために、ごみを捨てる時と有名人の『ありがと』という声が出るごみ箱を作るなど、ごみをきちんとごみ箱に捨てたくなる工夫をする」といい、「提案したのは、子ども議員の西田 和輝」
他にも、「大和市から地球環境について改善していこう」と、ポイントカードシステムの導入、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進める、プラスチック製品の使用を減らす、「ペットボトルリサイクルのまち大和」を目指すなど、様々なアイデアが出されました。
北野 夢果さん(文ヶ岡小6年)は、「土の洪水抑止力」「緑の土砂災害抑止力や防音効果、空気清浄力」などを例にあげ、環境保護の大切さについて訴えました。「市民で協力して花や樹木を植え、泉の森のような、安心できる環境の場所を増やしたい。市外の方に『次の休みには気分転換に大和に行こうか』と言ってもらえたら嬉しい」と語りました。

第2グループ「地球環境」について 「このままでは地球が危ない!」



市長、教育長、議員の仕事

「市長」は、市民の直接選挙で選ばれた、市のリーダーです。市の予算案を作成したり、市議会に対し議案を提出したりするなど、市民が幸せに暮らせるまちづくりのための仕事を進めています。

「教育長」は、教育委員会の代表で、教育委員会の会議を主宰しています。子どもたちにとって学校が豊かな学びの場となるように、仕事を進めています。

市民の直接の代表である「市議会議員」は、市議会に出席して意見を述べます。幅広い世代の願いや訴えを聞き、その内容をよく調べて市政に反映させる役割があります。

第3グループ「教育」について



近年の電子機器の発達や、よく言われる「コミュニケーション力の低下」など、第3グループでは、そんな時代に合わせた課題が多く出されました。

子ども議員の巻田 耀生さん(渋谷小6年)は、「授業をもっと楽しめるように、パソコンやタブレットを使った授業を増やすといいと思う」と意見を述べました。

同じく子ども議員の金指 優良さん(北大和小6年)は、「コミュニケーションに関わることで、他校の人と交流したい。そうすれば、同じ」

大和市制60周年記念事業 「子ども議会」開催!

第4グループ「大和市の未来」について

子ども議員からは、「ごみのないまち」「住みよいまち」の2つの視点から、様々な意見が出されました。その全てに共通するのは、「大和市が好き。より良いまちにしたい」という思いでした。

「大和をきれいなまちにして未来につなげたい」という子ども議員の巻田 海生さん(下福田中2年)は、町中にごみ箱を設置するメリット(ポイ捨ての減少)とデメリット(回収作業の負担・放火等の犯罪の危険性)を述べ、デメリットへの対策をしようとごみ箱を設置する必要性を述べました。

また、子ども教育長の泉まいこさん(鶴間中2年)は、「大和を子ども

にも高齢者にも優しい市にしたい」と、歩行者にとって危険な道路への、ガードレールやボールの設置を提案しました。

自分の祖母とのエピソードをもとに、「高齢者が安全・安心に楽しく暮らせる大和市にしたい」と語ったのは、子ども議員の山下 皓大さん(下福田小6年)です。「コミユニティバスの運行本数や停留所の数を増やせば、自分で運転をしなくても行きたい所に行くことができる」と、その良さをアピールしました。

この他にも、「バリアフリーの推進」「街灯をより明るくし、設置場所を増やす」「コミユニティロードの整備」「いじめゼロ」「誰もが

希望を持ってまち」「外国の方と住める優しいまち」「ルールとマナーを大切に」など、バリエーションに富んだ提案がなされました。

最後に子ども議員の山下 洗姫さん(渋谷中2年)が、「未来に終わりはない。だから私はより良い大和を目指して一歩ずつ進んでいきたい。皆さん、明日という未来に向かって、希望を胸に生きていきましょう!」と会場に力強く呼びかけ、議事を締めくくりました。



【感想インタビュー】

「自分の考えを原稿などの文章としてまとめるところが大変でした。子ども市長として議会に参加してみても、世界を様々な視点で見えていくことが大切なのだと感じました。」

第4グループ・子ども市長・青山 和司さん(つきみ野中2年)

大木市長インタビュー

「子ども議会後、大木 哲市長にインタビューをしました。」

「子ども議会の感想を教えてください。」

「大人顔負けの議会でした。どの子ども議員もプラス思考で、マイナスイメージや考えが一つもない!そして、たくさんの方がいるように感じました。」

「実際に議会で答弁をされる際に、心がけていることは何ですか?」

「もう一人の自分が傍聴席から見ているつもりで話しています。」

「大和市の小学生に、メッセージをお願いします。」

「皆さんは、大和市の宝です。今後、困難に出会うこともあるでしょう。そのときは、ぜひそのプラス思考で立ち向かい、大きな夢・希望に向かって進んでいってください。」

議長の仕事



全議員の中から一人だけ選ばれる「議長」。その大切な役割について、調べてみました。

議長の役割は、会議全体の進行役を務めることです。学級会の「司会」に似ていますね。活発に意見が出る場合は、適度なところで意見をまとめ、先に進まなければなりません。会議をうまくコントロールするのが議長の役割なのです。基本的に議長は自分の意見を言うことができません。

良い会議の進め方とは、多くの人の意見が集まり、最終的に全ての人の合意が取れて、一つの方向に向かって全員が約束できるようなものを目指します。議長は、バスの運転手や飛行機のパイロットなどのように、会議のハンドルを握る重要な役割なのです。



【感想インタビュー】

「私は子ども議会で読書と英語の大切さについて話しました。最近は大和市内に住む外国の方が増えています。来年には、東京オリンピックもあり、中学校に英語の部活をつくるなど、学びたい人がもっと自由に英語を学べる場を作れたらいいなと思います。」

第3グループ・子ども教育長・東 桜子さん(光丘中2年)



☆編集後記☆

子ども記者として子ども議員の皆さんの発表を聞きまし。そのどれもが、この先に待っている未来についての内容でした。記事を書くことを通して、僕は、将来について考えることの重要性を学びました。(校)

子ども議会を通して、10年に一回というとても貴重な体験をさせていただき、とても嬉しかったです。議会当日まで、すごく緊張していましたが、とても楽しかったです。10年後には、どんな大和市になっているのが楽しみです。(繪)

